

編集後記

多根総合病院 副院長 渡瀬 誠

2011年は3月1日に新病院移転を行ない、私たち職員にとっては明るい話題で始まりました。しかしその後、3月11日には東日本大震災が発生し、日本全体が激動の一年になったことはご存知のとおりです。

新病院体制が落ち着いた7月初め、嘗てから丹羽院長との間で話題にしていた医学雑誌の発刊について話し合いの機会がありました。私自身、多根総合病院が色々な分野で一流のことを行っているにも関わらず、世に見えて評価されているのはほんの氷山の一角ではないかと以前より危惧しておりました。丹羽先生は、総合病院のさらなる発展のためには新病院になった今こそ医学雑誌発刊が必須であると、即座に“go sign”を出されました。そして時を待たず2011年7月22日に第1回多根総合病院医学雑誌編集委員会が行われ、各科部長を中心に編集委員を指名致しましたが、快く承諾いただきました。第1回目の発刊を2012年3月と決定し、その後月に1回の委員会を開催、論文の募集、査読、編集と順調に進行していくことができました。結局、原著6編、症例報告6編と看護研究2編の合計14編の論文が完成し、部門別では医師7編、コメディカル7編とバランスが取れています。初めて論文を作成した方もおり、査読には大変な労力と時間がかかりましたが、医師、コメディカルを問わず、論文を作成する過程を通して、様々な知識の集積、思考回路の発見などがあったのではないのでしょうか。病院全体がこのような医学雑誌に関心を持ち、医学にかかわるものとしてその考え方を学び、新しい試みや、希少な経験を積み重ねることこそが、病院全体のacademicな体制作りを促進し、そして本当の病院の実力、評価につながると信じております。

最後に、論文著者、編集委員の方々、大変な調整業務を行っていただいた事務局に厚く御礼申し上げます。

多根総合病院医学雑誌編集委員会

委員長：丹羽 英記（院長）

副委員長：渡瀬 誠（副院長）

委員：林 美樹（副院長）／安部 嘉男（救急科）／小川 淳宏（外科）／森 琢児（外科）／濱 典男（内科）／小川 竜介（脳神経外科）／細川 幸成（泌尿器科）／奥田 佳延（脳卒中センター）／須賀 久司（整形外科）／松尾 良一（放射線科）／吉原 渡（中央検査部）／川住 勇（中央検査部）／西村 洋子（看護部）

事務局：上野 梢（総務）／織田 恵美（総務）

多根総合病院医学雑誌

第1巻 第1号

平成24年3月 発行

編集兼発行 多根総合病院（代表：丹羽英記）

大阪市西区九条南1丁目12番21号

〒550-0025 電話 (06) 6581-1071(代)

FAX (06) 6585-2757

E-mail ikyoku@tane.or.jp

(担当 上野, 織田)

印刷所 シグマ紙業株式会社

大阪市西淀川区御幣島5丁目12番24号

〒555-0012 電話 (06) 6472-1321(代)